

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会 副委員長 長内克真

拡大運営委員会・交流会議・大懇親会・テクノツーリズム・BBQ 「全国の青年技術士と交流を図る」

青年技術士交流委員会では、平成30年6月9～10日に統括本部で開催された拡大運営委員会、交流会議、大懇親会、テクノツーリズム及び懇親会(BBQ)に参加してきました。この開催概要を以下にご報告致します。

1. 拡大運営委員会・交流会議

機械振興会館にて、統括本部の委員及び地域本部の委員長による拡大運営委員会からスタートした本会議ですが、北海道本部からも委員長、副委員長及び幹事長等の総勢7名で参加しました。

拡大運営委員会では、統括本部の主導のもと、全国9地域本部の委員長が出席し、収支や予算の報告等を行い、改善点等の活発な議論がなされました。

交流会議は、各地域本部の代表者が活動報告のプレゼンを行い、他の地域本部と意見交換する形式で進められました。北海道本部からは西村副委員長が発表しました。昨年度に企画・実施したイベントが18イベントと他の地域本部と比較して最も多いことから、各地域本部から北海道本部へ様々な質問がありました。北海道本部の活動を全国に伝えることができた、素晴らしいプレゼンテーションでした。

交流会議全体を通じて、各地域本部の特徴的な取り組みを知ることができ、北海道本部の今後の活動に活かす、良い気づきがあった会議でした。

交流会議の最後には、おまけ企画として各地域本部で今年度実施したイベントで撮影した写真を集めた「青年写真コンテスト」が開催されました。北海道からは、昨年度、豊平峡ダムを見学したテクニカルツアーでハートマークポーズをして集合写真を撮影した「ダムラブ」写真をエントリーしました。投票により、北海道本部は惜しくも第4位という結果とな

りました。優勝は、昨年に山口県で開催された技術士全国大会の懇親会を撮影した中国本部でした。



写真-1 交流会議での西村副委員長の活動報告



写真-2 青年写真コンテストの「ダムラブ」

2. 大懇親会

会場を移し、各地域本部の青年技術士による大懇親会が乾杯の挨拶とともにスタートしました。全国の青年技術士との交流は刺激が多く、普段では学ぶことができない、筆者にとってとても刺激となるものでした。

また、ここでも各地域本部対抗企画として、「名物メンバー対決！」が開催されました。この企画は、

各地域本部の名物メンバーをプレゼンターが紹介する形式で進行されました。北海道本部からは筆者が三吉副委員長、小澤幹事に紹介される形で発表しました。この発表に向けて、計3回の打合せと練習を行い、万全の準備で臨みました。発表は三吉副委員長から紹介を受けた筆者の今後のビジョンを小澤幹事と掛け合う形式で発表しました。

結果は、惜しくもじゃんけんで敗れたものの、北海道メンバーの個性を多いにアピールできたと思います。その後も、2次会が開催され、全国の青年技術士と大いに交流することができました。



写真-3 名物メンバー対決！での発表

3. テクノツーリズム

2日目は、統括本部で企画して頂いたテクノツーリズムに参加しました。場所は JR 総武線「本八幡駅」からほど近い「千葉県立現代産業科学館」です。

この科学館は、産業に応用された科学技術をテーマに、電力・石油・鉄鋼等の現代産業の歴史やバイオテクノロジー等の先端技術を展示する科学館です。

館内見学にあたっては、まず、館内ガイドの方から T 型フォードや製鉄の歴史をわかりやすく解説して頂きました。その後は、高電圧の迫力ある放電実験を紹介する「放電実験室」や放射線の発明の歴史を題材とした「人形劇場」を見学しました。実際の放電を直に体験でき、放射線の歴史も深く知ることができました。

このテクノツーリズムでは、普段の生活の支えとなっている現代産業の歴史や原理を知ることができ、とても貴重な体験となりました。



写真-4 テクノツーリズムの様子

4. BBQ での懇親会

テクノツーリズムの後は、BBQ での懇親会が開催されました。初参加の筆者にとって、最初は、全国の技術士の凄さに圧倒されていたものの、次第に打ち解け、全国の技術士の方々と楽しく交流させて頂きました。BBQ 後は残れるメンバーで密な交流が続き、11月に福島で開催される技術士全国大会での再会を約束し、皆さんとお別れしました。



写真-5 BBQ での集合写真

5. 終わりに

全国の他の地域本部の方々と交流することは、北海道本部の長所・短所を客観視することができ、新たな気づきの契機となりました。

また、各地域本部のメンバーは地域毎に問題意識を持って行動されていることから刺激をもらえ、技術士の人的ネットワークの大切さを改めて感じました。この全国の青年技術士との交流の経験を活かし、北海道本部の青年技術士交流会の活動を更に充実させていきたいと思います。